



Libcamera Base 魚眼カメラ静止画パノラマ展開 操作マニュアル

双峰エンタープライズ株式会社

プログラム概要

- RaspberryPi/libcameraで動作する魚眼レンズカメラで撮影した静止画を扇型に分割、変形してパノラマ展開します。
- 機能
 - Preview, 魚眼画像中心位置キャリブレーション、静止画記録、パノラマ展開

魚眼イメージの中心座標はcircle.txtとして自動作成されますが、あくまで参考情報として補正してご使用ください。

プログラムの起動

圧縮ファイルを展開後、guiディレクトリにて

\$./gui.py

(※実行権限をつけてご使用ください。)





画像確認。Windowの“×”で表示停止。

魚眼レンズの中心位置のキャリブレーション。レンズをカバーで覆って実行(circle.txtを生成)

パノラマ展開画像の確認。パノラマ展開処理を実施するので描画まで2分程度かかります。

画像撮影と保存(Bitmap)。タイムスタンプで自動でファイル名を生成します。

保存した画像を一括自動パノラマ展開し、x_***.bmpとして保存します。

プログラムを終了します。

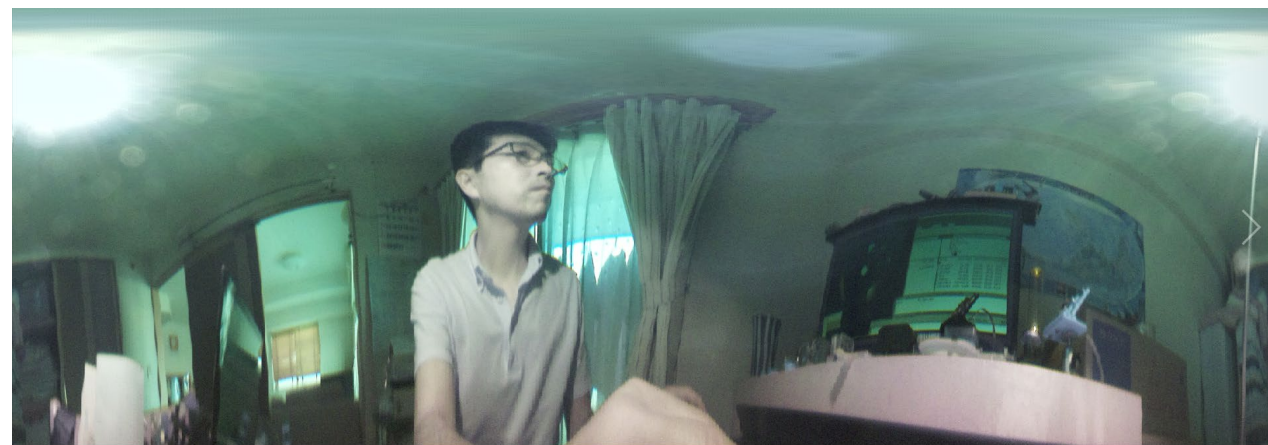
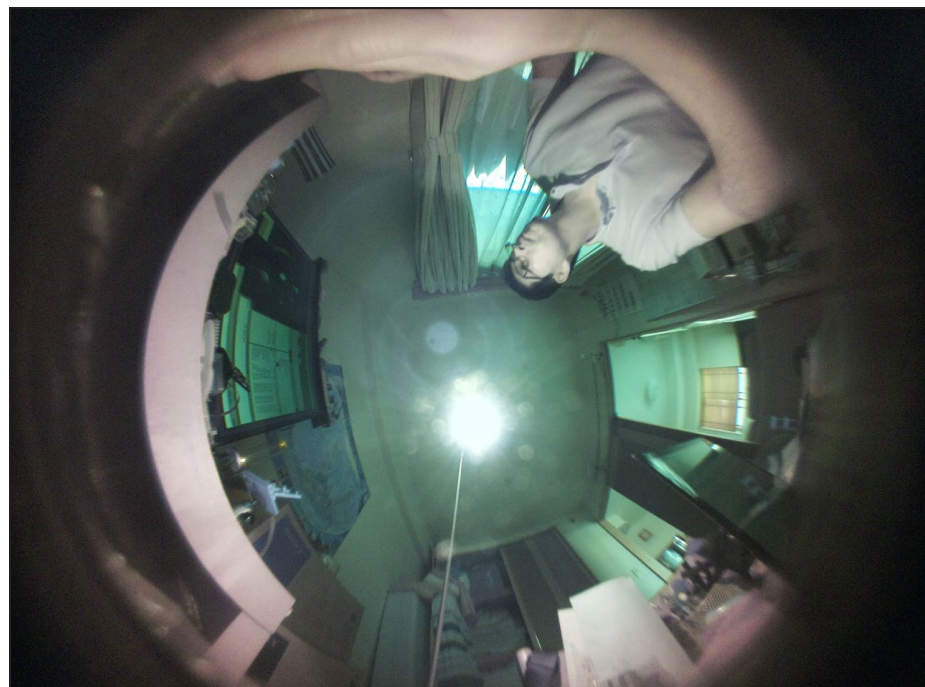
補正(確認用)ボタン押下後の状態(画像処理～描画に2分程度かかります。)



画像取得とパノラマ展開

撮影ボタンを押下すると撮影します。

一括補正変換ボタンを押下すると既に変換済みの画像はスキップして、展開画像を作成します。



以上